

☆世 界

綿花見通し 綿花在庫が拡大、在庫率 60%の見通し

国際綿花諮問委員会（ICAC）によると、2012/13 年度の世界の綿花作付面積は綿花価格の下落により競合穀物の作付面積が拡大し、前年比 4%減の 3,450 万ヘクタールとなる見込み。平均収穫量から試算すると、2012/13 年度の世界の綿花生産は、2 期ぶりに減少し前年比 5%減の 2,570 万トンを示す見込みである。

一方ミル消費は、経済成長の回復と綿花価格の下落により 2 期ぶりに増加し、前年比 4%増の 2,430 万トンと予測されている。ただし世界経済が悪化すれば下方修正もある。

生産が消費を再び上回るため、昨年前年比 40%増の 1,300 万トンを記録した期末在庫はさらに拡大し、前年比 11%増の 1,450 万トンとなり、在庫率（在庫/消費）は 90 年代後半以来最高の 60%となる見通し。在庫の拡大による綿花価格の下落が予測される。

また、国家備蓄を再開した中国は 2011/12 年度末までに世界の在庫の約 4 分の 1 を保有したと見られ、2012/13 年度も中国の国家備蓄は減速するものの拡大を続ける見通し。なお、ICAC の 2012/13 年度予測は、中国の国家備蓄に関して非常に不透明な部分がある。

世界の綿花需給見通し

(100 万トン)

	2010/11	2011/12	2012/13
生産	25.1	27.2	25.7
消費	24.5	23.4	24.3
輸出	7.6	7.8	8.3
期末在庫	9.3	13.1	14.5
価格*	1.64	1.06**	

*Cotlook A インデックス (ドル/ポンド)

**2011 年 8～2012 年 2 月の平均価格

☆台 湾

不織布 Freudenberg、スパンボンドライン増設

不織布メーカー Freudenberg Far Eastern Spunweb（科徳寶遠東）は、桃園県にあるポリエステルスパンボンド不織布工場において、3 号機目となる新ラインを増設する。2013 年に着工予定。

遠東新世紀と日本バイリーンとの合弁企業である同社は、1990 年に 1

号機を立上げ、2007年に2号機（年産1.2万ト）を増設し年産2.2万ト体制となった。3号機増設により年産1万ト以上の能力拡大となる。新ラインでは主に、カーペットタイル、自動車内装、フィルター、建設向け製品を製造する。

桃園工場は、ISO14000、ISO18000、TS16949など、各種国際規格の認証も取得済みである。

☆中国

企業動向 恒逸石化、CPLなど事業拡大に25億元調達

恒逸石化は、最大25億元の増資を計画していることを明らかにした。調達資金は以下3プロジェクトの資金に充て、産業ポリエステルチェーンにおける地位強化とともに、CPL事業で収益拡大を図る。

- 1) 浙江巴陵石化による年産20万トのCPL工場建設。総投資額35.9億元。（海外速報912号 2011/12/20）
- 2) 浙江恒逸高新材料による年産9万トの差別化繊維の増設。総投資額9.6億元。
- 3) 浙江逸盛石化による年産150万トのPTA増設

なお、この増資に恒逸石化の親会社である浙江恒逸集団は関与せず、発行可能株式数である5,400万株で試算すると、新株発行後、浙江恒逸集団による恒逸石化の株式保有率は71.2%から65.1%に低下する。

合繊設備 榮盛石化、差別化ポリエステルFを増強

榮盛石化の100%出資子会社である浙江盛元化繊有限公司は、総額18.93億元を投じて、既存設備を改良するなどして、年産29万ト規模の差別化ポリエステルF設備を建設する。既に着工済みで、2013年11月に稼働開始の予定。完成後は年間売上50億元、利益総額5.72億元を見込むという。

2010年11月、上場して間もない榮盛石化は、7.96億元を超える資金を調達し、盛元化繊の極細差別化FDY（年産10万ト）および極細差別化DTY（年産3万ト）設備の技術改良計画を明らかにした。現在では、この2つのプロジェクトは上述のプロジェクトの一環として位置付けられている。

建設地は杭州市蕭山区益農鎮。同社の保有する敷地と既存の20万ト規模のポリエステル設備を利用する。プロジェクト完了後は、極細差別化FDY（同10万ト）、環境保全型多機能DTY（同10万ト）、難燃ポリエステル（年産9万ト）の各設備が出そろふことになる。

荣盛石化はこの大型投資に関して、繊維大国から繊維強国への転換を目指す中国において、モデルチェンジやアップグレードは不可欠であるとしている。

☆イタリア

合繊提携

ポリエステルFで提携--- Miroglio と Sinterama

ポリエステルFメーカーの Miroglio と Sinterama が、製造・販売の提携で合意した。Miroglio は、Sinterama の株式を取得する。

今回の提携の具体的内容は以下の通り；

- ①製造関係…Miroglio の Saluzzo (イタリア) および Nova Zagora (ブルガリア)、Sinterama のイタリア、英国、トルコ、ブラジル、中国の各工場を再強化・最適化する。
- ②販売関係…両社は衣料用長繊維を専門とするビジネスユニットを形成。Miroglio の長繊維部門は同分野で長年の経験を有しており、Sinterama のリソースを活用することで営業力が強化される。

Sinterama によると、両社の欧州における衣料用ポリエステルF市場でのシェアは2割に達し、今回の提携により、欧州のポリエステルF業界の構造改善がさらに進展する。世界に工場を有する Sinterama は、昨年、Indorama (Thailand) とともに買収した、ドイツの Trevira (海外速報 No. 896 2011年7月20日号) ともリンクージュを図り、Miroglio との提携により、世界の衣料用ポリエステルFのリーダーになることを目指している。また、世界的にビジネスを拡げている、イタリアの国内衣料用生地メーカーをサポートすることも、今回の提携の目的のひとつであるという。

Miroglio グループは1947年に創立。2010年の年商は9億9,971万ユーロ、従業員12,000人。世界36カ国に58社の会社を有するグローバル企業で、2,100の小売店舗も展開している。ファブリック、ヤーン、トランスファープリントおよびテクニカルフィルムの3事業を柱としている。うちファブリックではプリントをコア事業とし、欧州の最有力メーカーのひとつである。Miroglio の長繊維部門は衣料用の差別化糸に集約し、その年商は3,000万ユーロ。ポリエステルFへの特化を進めており、Sinterama との提携はその重要なステップになる。PCIによると、イタリアにおける Miroglio グループのポリエステルF生産能力は年産1.8万ト。

Sinterama は年商1.3億ユーロの大手加工糸・ポリエステルFメーカー。世界5カ国で6工場を操業している。従業員は650人。年間3万ト

のヤーンを製造。自動車、ホームファニーシング、衣料、産資等の用途で使用されている。PCIによると、イタリアにおける同社のポリエステルF生産能力は年産1.2万トである。

☆米 国

ス-ハ°-繊維

Honeywell、Spectraを増設へ

Honeywell Advance Fibers and Compositesが、2,750万ドルを投じて、Chesterfield County, VAのSpectra工場に、新たな製造設備を設置する。これにより現在300人の従業員を350人へ増員する。

Spectraは超高分子量ポリエチレン繊維。防弾服、耐切創手袋、釣り糸、セールクロス、ハリケーン保護製品、網・綱などで使用されている。

以 上